

平成27年度 全国学力学習状況調査結果を受けて

平成27年4月22日実施 対象学年 6学年

国語A

- ・基本的な漢字の読み書きが定着していない児童が全体の3割ほどいる。
- ・文章や資料などから、内容を読み取り解答する力は全道平均並みである。わからないながらも、回答に正対して努力する児童が多い。
- ・「話す・聞く」の観点では、日常の話し合い活動に積極的に取り組んでいる成果が出て、全道並みに解答できていた。

国語B

- ・問題の意図を読み取り、記号などで解答する問題について良くできていた。
- ・しかし、意図に沿って問題から抜き出して解答するなどの問題については、正確に書けている児童は半数ほどであった。
- ・読書への関心は高く、物語の作者などに注目して本を選ぶことができる。

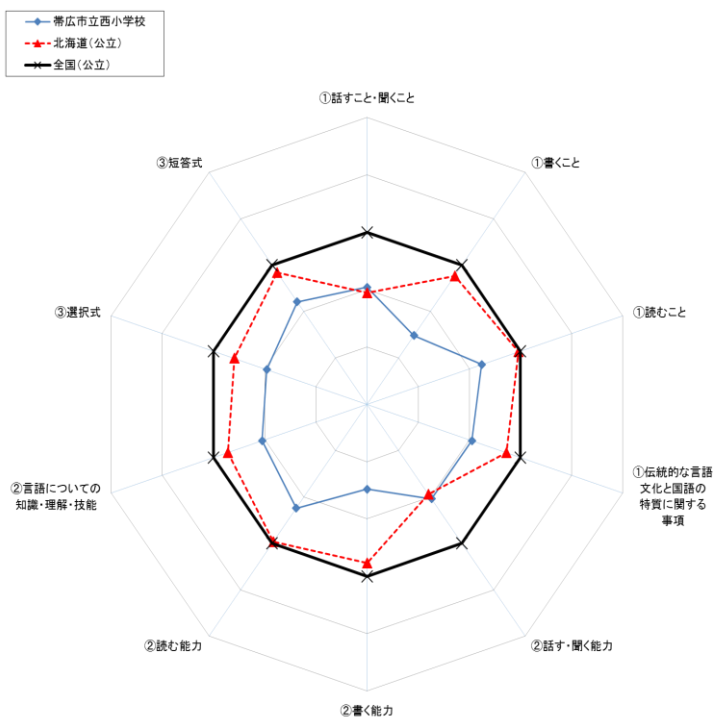
算数A

- ・2年生からの学習の中で、基礎基本が定着していない児童が多い。
- ・特に、「時刻の問題」「小数・分数の計算」「分度器のはかり方」などを忘れてしまっている傾向にある。
- ・面積や図形などの問題については、公式をよく理解して問題を解ける児童が半数以上である。

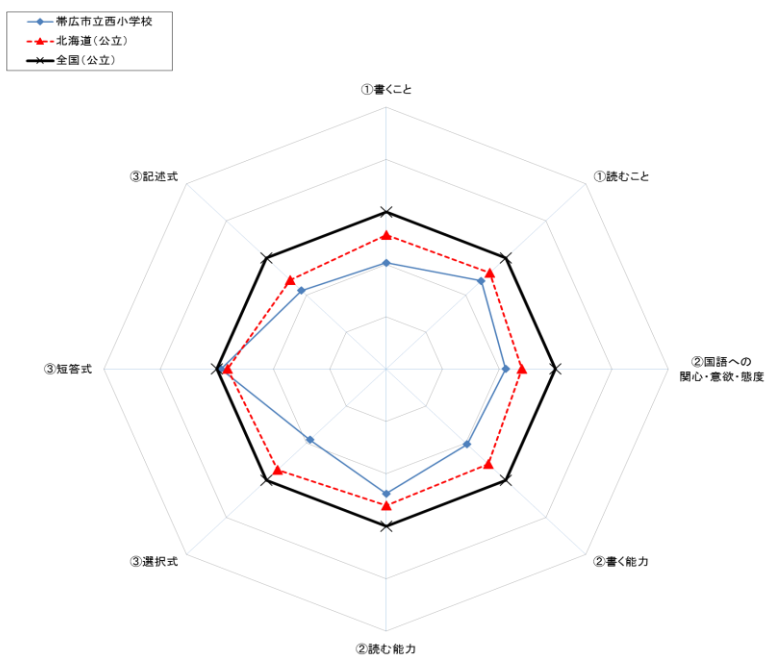
理科

- ・全体的に理科好きの児童が多く、全道平均並みに得点は取れている。
- ・特に「生物」や「地球」に関する問題では、全国平均を上回り、知識・理解が高いことがわかる。
- ・「物質」や「エネルギー」に関する設問では、正答率が低いものもあり、復習が必要である。

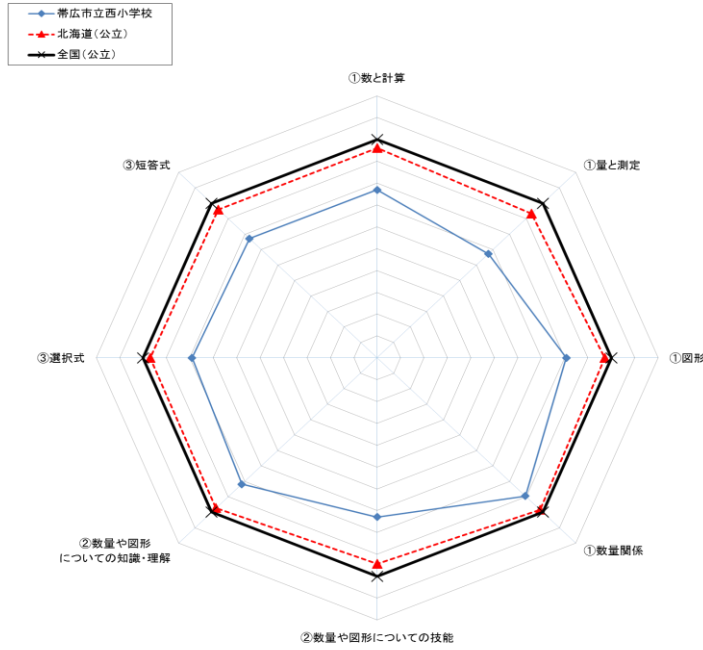
国語A



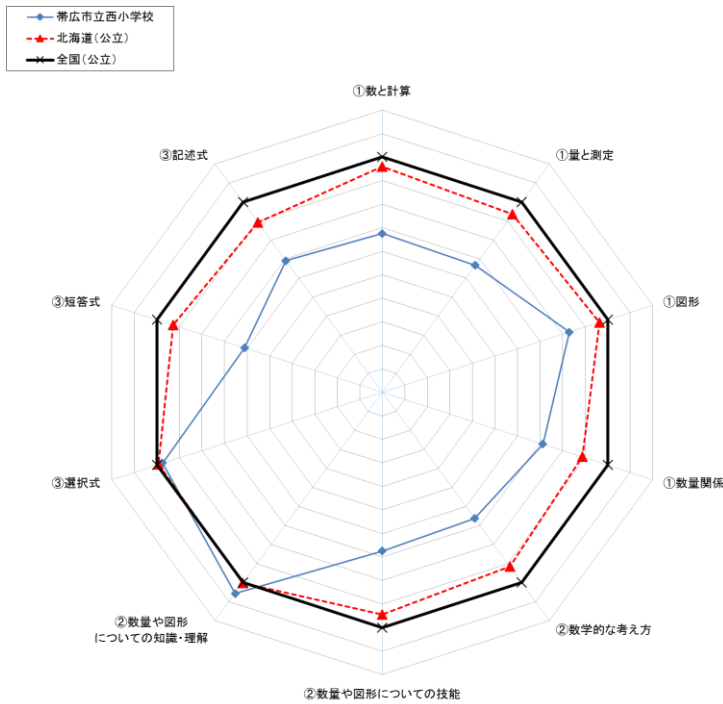
国語B



算数A



算数B



理科

